

今日の力

2017年12月11日~12月17日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田 欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月11日(月)

歌って,強くされる

聖書朗読 詩篇 118:14~29

キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。 コロサイ 3:16

幸せな時に歌を歌うのは簡単なことです。苦悩と不安に満ちた日々を過ごしているときはどうでしょうか? それでもあなたは神への賛美の歌を歌うでしょうか?

長年の友人が病院から老人ホームへと移る日、彼女はお別れの讃美歌を歌って欲しいと言いました。彼女が歌い始めると、患者、病院スタッフ、そして「家族たち」も歌い始め、一つの大きなコーラスとなって賛美の歌が病院に響き渡りました。歌うことで、友情の絆が強まります。歌うことで、気持ちを立て直すことができ、不安を和らげることができ、ストレスのレベルを下げることができます。歌うことで、私たちの目を今の苦しみから私たちを助けることができる御方へと向けることができます。

ユダヤの人々にとって、過ごしの祭りのとき、賛美の詩を歌うのはお決まりのことでした。イエス様が弟子たちとともに過ぎ越しの物を食べた夜も同じでした。彼らは一緒に神への賛美と霊の歌を歌いました。『そして、賛美の歌を歌ってから、みなでオリーブ山へ出かけて行った。』(マルコ14:26)。今、礼拝で歌うことで、私たちは信仰を一つにし、再確認しあいます。歌いましょう。そして強められましょう!

神のみことばの次に、世界の最も優れた宝は、 音楽という偉大な芸術である。 音楽は私たちの思いを、心を、魂を支配する。

___マーチン・ルーサー・キング

讃美歌 第二編 194

析 り 聖なるお父様。歌うことで私たちがどれほど救われるかを、あなた様はよく知っておられます。様々な方法であなた様の愛と、私たち一人ひとりを覚えてくださっていることを私たちに示してくださっていることに感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

キャロル・ロッジス コロラド州 プエブロ 12月12日(火)

使わなければだめになる

聖書朗読 詩篇 119:9~16

私は、あなたのおきてを喜びとし、あなたのことばを忘れません。

詩篇 119:16

家は住む人がいなくなり、使われなくなると、あっという間に朽ちてしまうのはしょうがないことです。はじめはゆっくりと朽ちていきますが、そのままほっておかれるとあっという間に朽ち果ててしまいます。

私たちの生活の中で、神のみことばをおろそかにし始めたとき、私たちの信仰も家と同じことが起こります。みことばに触れることなく、語る時間が長くなればなるほど、信仰が朽ちていくスピードが増していきます。

私たちは、クリスチャンにとって必要な全てを学んでおり、自分のものにしていると思ってしまいがちです。自身の信仰に満足し、自分は十分に努力しているという思いと、みことばに対する情熱だけでなんとなく過ごしてしまっていませんか。しかし、私たちが覚えておかなければならない重要な原則があります。それは、もし私たちが学び続け、成長し続けなければ、私たちは衰え、後戻りしてしまうということです。私たちの信仰は、前に進むか、後ろに戻るかどちらかです。間に留まり続けるようなことはないのです。使わなければだめになるのです。

信仰生活とは、羽を使って昇るのではなく、 倒れることなく、歩き続けるもの。

_____オズワルド・チャンバー

讃美歌 187

祈 り 主よ。どうかみことばを切望し続ける気持ちとエネルギーを私たちにお 与えください。

キリストの御名によって祈ります。アーメン。

ジャン・ノックス テキサス州 グランバリー 12月13日 (水)

賛 美 す る 理 由

聖書朗読 詩篇 135:1~5 主にあって喜びなさい。

ピリピ 3:1

数年前、私は今の私に大きく影響を与えたレンヤングの授業を受けました。彼 女は、できればやりたくないルーティーンワークを賛美のチャンスにする方法を私 たちに教えてくれました。彼女は「ほめたたえよ、造り主を」を歌いながら、磨く 動作を私たちに見せ、これが私はトイレを掃除するスタイルですと言いました。こ の時私は、主への賛美を歌いながら悪い態度でい続けることは難しいと知ったので す。この教えは、何年にもわたって私の心を救い、支え続けてくれています。

なぜ人は賛美するのでしょう? それは、神は慈しみ深い方だから、だから私たちは神を賛美するのです。神が誰で何者であるかを知っているから私たちは神を賛美します。詩篇には、『主の御名にほめ歌を歌え。その御名はいかにも麗しい』(詩篇 135:3)と書いてあります。賛美をしているときは、私たちの思いや気持ちは高められます。最後に、神とともにいることで得られる平安、そして私たちは神の最も大切にしているものであることに感謝して、神を賛美しましょう。

苦しみの中にいても、あなたの心はメロディーを刻んでいますか? どんなと きでも神をほめたたえましょう。神は賛美するようにとおっしゃられています。 賛 美をすることで、私たちの問題に対する見方を変えることができるのです。

讃美歌 79

析 り 親愛なるお父様、聖霊様、救い主。あなたは私たちの人生の基盤をしっかり支えてくださいました。それを忘れずに、イエス様の御名を賛美することができますように。アーメン。

ダナ・メレネス テキサス州 ヴィクトリア 12月14日 (木)

約 束

聖書朗読 詩篇 145:13~21

主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、一つもたがわず、みな実現した。 ヨシュア記 21:45

約束するのは簡単です。私たちはすぐに約束してしまいます。人の喜ぶ顔が見たくて、私たちは約束してしまいます。「私に任せて」「いつか公園に行こう」「掃除は私がやっておくから、あなたは休んで」。本当に簡単に誰かと約束をしてしまいます。

約束に従う。これはまた別のことで、私たちが思っているよりも大変なことです。約束を守らなかった時の言い訳はいくらでも思いつきます。他のことで忙しかった。忘れてしまった。または気持ちが変わってしまった。さらに私たちはそのことを約束した相手に知らせることすらしないときすらあります。

神が約束をされたとき、それは必ず果たされます。イスラエルの人々が約束の地に着いたとき、人々は約束が果たされたことを目にしました。私たちはいのちと敬虔に関するすべてのことを与えられ、それによって尊い、素晴らしい約束をあたえられています。(Π ペテロ 1:5)

『主はすべてのものにいつくしみ深い』。詩篇 145 章では、主は私たちを支え、起こされ、必要なものを与えられ、私たちに寛容であり、いつもそばにいてくださり、私たちを見守ってくださっておられます。偉大な約束。神は果たしてくださっておられます!

讃美歌 312

析 り 親愛なる主。私たちに与えてくださった約束に感謝いたします。私たち があなた様や周りの人々にした約束全てを果たすことができるようお助 けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・P・ミューレン テキサス州 ノースリッチランドヒルズ

12月15日(金)

いつの時代でも主を替美する

聖書朗読 詩篇 149編

聖徒たちは栄光の中で喜び勇め。おのれの床の上で、高らかに歌え。

詩篇 149:5

イスラエル人たちの祈祷書と言われている書の終わりで、『主に新しい歌を歌え。 聖徒の集まりで主への賛美を。』と詩篇の作者は聴衆に呼びかけました。流浪期以 降に建てられたものと同様に、礼拝の場としての第二神殿は、ソロモンが建てた第 一神殿のような人目を惹く豪華さはありませんでした。バビロン捕囚から解放され た神の人々は、エルサレムに再び戻ると大変な困難に直面しました。彼らはメシア の到来を待ち望みました。2000年後、私たちはその後を知っています! 来たので す。メシアは来ました!

今, 私たちは「最後の日々」を生きています。今の時代を正しく生きながら, 昔のイスラエルのように, 詩編の作者の呼びかけに耳を再び傾け, 主に新しい歌を 歌いながら替美しましょう!

讃美歌 第二編 21

祈り 私たちの主よ。来てください!

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョン・ロング テキサス州 ラボック

12月16日 (土)

歌わないようにする

聖書朗読 詩編 150

これらはただ神の道の外側にすぎない。私たちはただ、神についてのささやきしか聞いていない。だれが、その力ある雷を聞き分けようか。 ヨブ記 26:14

次のような光景を見たことがありますか? 岸にめがけて押し寄せる波。雪に覆われた山の頂。吹き出す間欠泉。イエローストーンのファウンテン・ペイント・ポットのボコボコと吹き出す水。ヨセミテ渓谷にそそり立つハーフドーム。ナイアガラの滝のとどろき。金色に波打つ麦畑。オザーク湖の緑豊かな森。青く染まるアパラチア山脈。ニューイングランドの真っ赤に色づいたふわふわの落ち葉。氷河から割れてできた氷山。バッファローやエルクの鳴き声。ワキアカツグミやショウジョウコウカン鳥の歌声。

次に、あなたの知っている人たちについて考えてみてください。あなたを教えた人、あなたを育てた人、あなたのヒーローとなった人がいます。たとえあなたが間違いを犯したときでさえも、あなたは愛されていると教えてくれる人。遠く離れた島で貧しい人のために尽くす退職後の夫婦。誰もが行くべきではないと言っている時でさえ神に呼ばれた場へ向かう若い宣教者。

神の御国で、私たちは主を賛美せずにはいられません!

讃美歌 17

析 り 親愛なる創造主。あなた様がお創りになられた奇跡、私たちに与えられた恵み、あなた様のひとり子の尊い犠牲にたいして私たちは何をすればよいのでしょうか。あなた様の御名を賛美いたします。

御子の名によって。アーメン。

ペニー・F・ニコルス テキサス州 オデッサ

12月17日(日)

バーディー、イーグル、ボギー

聖書朗読 箴言 3:5~8

闘技をする者は、あらゆることについて自制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです。

I コリント 9:25

私の父はかつて一流のゴルファーで、40年以上もの間カントリークラブのメンバーでした。私が幼いころは、父からゴルフのレッスンを受けたりもしました。ボールを打つときは、常に頭をさげ、ボールから目を離さずに正しくスイングすることが大切だと言いました。目指すのは、十分な力で、グリーンに対して正しい角度でボールを打ち、そして小さなカップにボールを入れることです。

ティーからボールを打つときは、距離を見極め、最適なゴルフクラブを選ぶこともまた大切です。「ウッド」は距離があるとき。「アイアン」は短い距離のとき。「ウェッジ」はチップショットのときです。コースの中にはラフやバンカーや池といったハザードの区域があります。また別のハザードとしては、誤った方向に打ってしまうスライスやフックというったものがあります。

日々の生活の中で、私たちはゴルフコースに住んで、ゴルフカートに乗り、小さなボールを追っているわけではありません。しかし、ゴルフとクリスチャンとしての生活には興味深い類似点があります。目的と力をもって「ボール」を打ち、「罪のバンカー」を避け、そして更なる上のグラウンドを目指すということです。

潜美歌 520

祈り 親愛なるお父様。足元確かに、集中してコース内に留まっていられるよう お助けください。この世にあるハザードに気が付き、それを避けて通れる ようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケーシャ・ウィンザ カリフォルニア州 サンディエゴ